

ID ^{注1)}	051101	公開レベル ^{注1)}	C	保管形式 ^{注1)}	紙・電子	保管場所 ^{注1)}		前回ID	
-------------------	--------	----------------------	---	---------------------	------	---------------------	--	------	--

報告書名称 /調査名称	平成17年度白神山地におけるブナ林の森林構造及び動態の解明に関する調査研究業	発行年月/報告年月	
		2006年	3月
		資料形式 ^{注2)}	報告書

調査機関	環境省 東北地区自然保護事務所	委託機関	株式会社パスコ
------	-----------------	------	---------

調査開始年	2011年	調査期間	2005年	6月	～	2005年	12月
-------	-------	------	-------	----	---	-------	-----

調査頻度 ^{注2)}	—	調査時期 ^{注2)}	—
---------------------	---	---------------------	---

モニタリング計画	2012年3月 策定	区分 ^{注2)}	IIA	大区分 ^{注2)}	1	小区分 ^{注2)}	(2)
----------	------------	-------------------	-----	--------------------	---	--------------------	-----

調査箇所・範囲 ^{注3)}	目的・調査手法
------------------------	---------

核心地域
 緩衝地域
 周辺地域
 GPS等の位置データあり

※周辺地域における調査箇所は備考欄に示す。

■目的
 白神山地白神山南斜面モニタリングサイトにおいてレーザースキャナ・ハイパースペクトルセンサ計測を実施し、ギャップの遷移状況等や冬季積雪状況のデータを収集した。さらにモニタリングサイトにおける過年度調査を補完する現地調査を実施し、同空中計測データの精度等の比較検証を行い、本空中計測の有効性等の検証をおこなうものである。

■調査項目

- 航空機計測 センサ計測調査
- 樹種分類手法の広域適用の検討
- 樹高及び層別PAI計測精度向上の検討
- 地形要因の検討
- 主題図作成

■調査方法

- 航空機計測 レーザースキャナ (ALS50) ハイパースペクトルセンサ (AISA)
- 樹種分類手法の広域適用の検討 平成16年成果のハイパースペクトル画像の利用
- 樹高及び層別PAI計測精度向上の検討 平成15年成果のレーザースキャナ成果と平成17年計測成果の利用
- 地形要因の検討 平成16年成果のDTM(デジタル地形モデル) から尾根、谷、斜面方位などを算出
- 主題図作成 標高、斜面方位角、積雪深分布などの地形的、冬季の気象的な要素と樹種、層別PAIなどの植生要素を組み合わせた主題図の作成

結果概要 (スペースに収まるように入力してください)

・対象地域の樹木は、傾斜角15度から40度までに多く分布し、ポリゴンの平均傾斜角度は26度であった。
 ・表にまとめられるように、森林形態と地形区分の間には一定の傾向が確認された。例えば、Cグループは、対象地域の北部、中央部、または北東部に広くその傾向が確認され、尾根部における森林形態として中低木が生育する傾向にあることを示している。

表4 森林形態と地形区分

図4.14名称	森林形態	地形区分
Aグループ	● 密生=樹冠面積が小さい高木が密生	地すべり地形、または急斜面と緩斜面が混在
Bグループ	● 密生=樹冠面積が大きな高木が密生	周囲の地形形状が比較的均一
Cグループ	○ 中低木が生育	尾根部
Dグループ	○ 中低木が生育	比較的広い緩斜面

問い合わせ	環境省東北地方環境事務所 西目屋自然保護官事務所 〒036-1411 青森県中津軽郡西目屋村大字田代字神田61-1 TEL:0172-85-2622 FAX:0172-85-2635 ≪原本(データ)の帰属について≫
-------	---

注1) 「ID」「公開レベル」「保管形式」「保管場所」については記入しないこと。
 注2) ドロップダウンリストから該当する項目を選択すること。
 注3) 該当する項目の口をクリックし、チェックを入れる。

備考

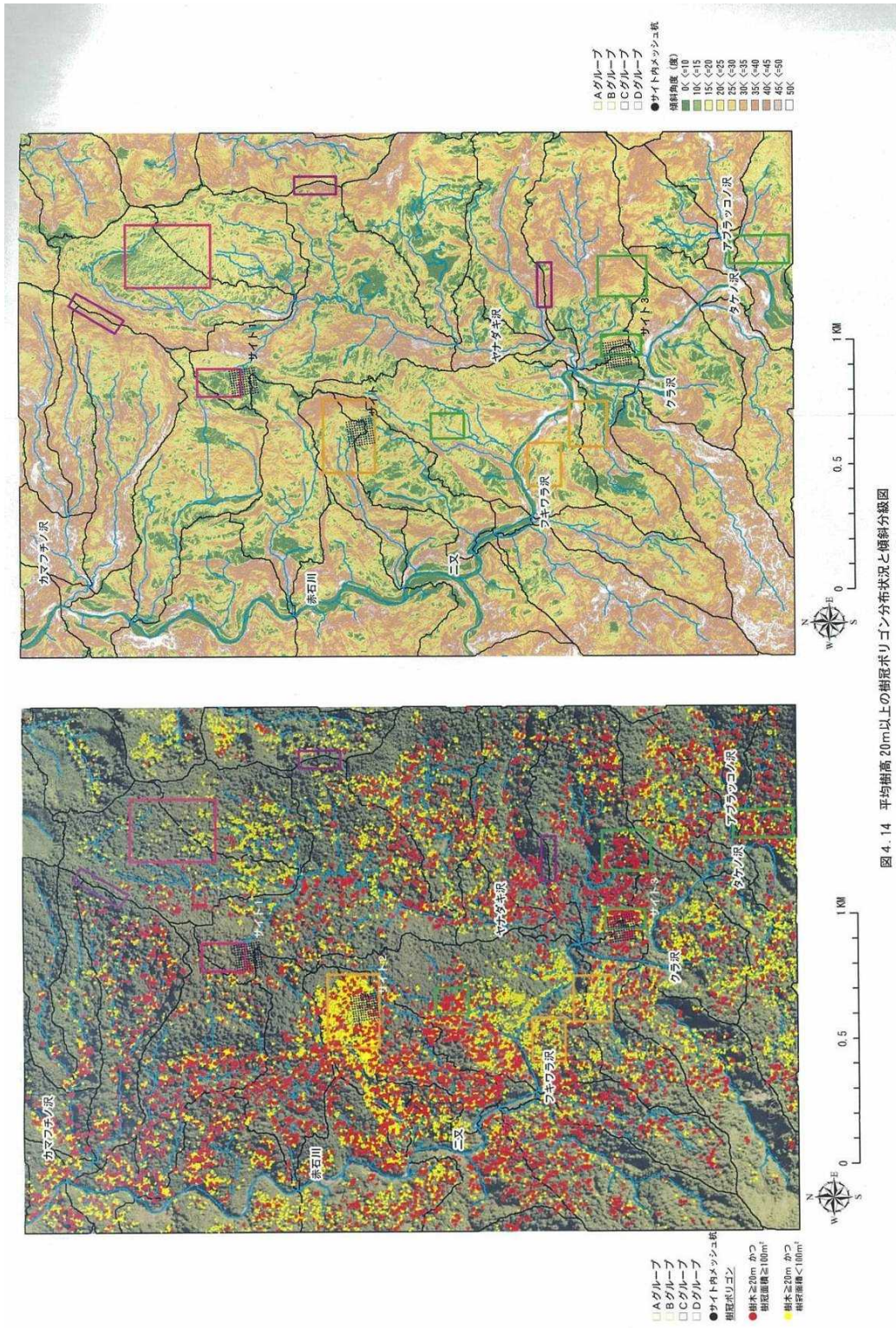


図 4.14 平均樹高 20m 以上の樹冠ホリゴンの分布状況と傾斜分級図